

1 1枚の硬貨を3回投げる試行において、例えば、1回目に表、2回目と3回目に裏が出るという結果を記号 HTT で表すことにする。

a) 標本空間 Ω をこの記号を用いて表せ。

b) この試行において、事象は全部でいくつあるか。

c) 「少なくとも2回裏が出る」という事象 A を上の記号を用いて表せ。

d) この試行において、どの結果も同程度に確からしく起こるとするとき、少なくとも2回裏が出る確率を求めよ。

入学年度	学部	学科	組	番号	検	フリガナ	
						氏名	

□2 大小2個のさいころをなげるとき、例えば、大きい方は3の目が出て、小さい方は2の目が出ることを $(3, 2)$ で表すことにする。

a) 標本空間 Ω は何個の要素をもつか。

b) 事象は全部でいくつあるか。

c) 「目の積が奇数である」という事象を A とする。 A を要素をすべて挙げることによって表せ。

d) A の余事象 \bar{A} を言葉で表せ。また、 $P(\bar{A})$ を求めよ。